MITSUBISHI ELECTRIC

三菱ハウジングエアコン　別売　フロアービルトイン用ダクトセット
形名　MAC-760FD　MAC-765FDW　MAC-766FDB

据付工事説明書 販売店･工事店さま用

● 本製品はガラリ等、隠蔽設置時の風向制御をするための部品です。

この製品の性能･機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事前にこの据付工事説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

●ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

警告（誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの）

■“図記号”の意味は次のとおりです。
指示を守る

■**据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電･火災･ユニットの落下によるケガの原因になります。

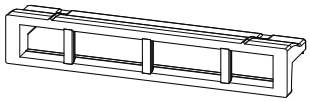
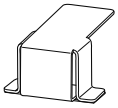
■**据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。

■**据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。**
据付けに不備があると、水漏れ･感電･火災･ユニットの落下によるケガの原因になります。

■**据付時、安全のため、適切な保護具･工具を使用する。**
ケガの原因になります。

■**据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。**
当社指定部品を使用しないと、水漏れ･感電･火災･ユニットの落下によるケガの原因になります。

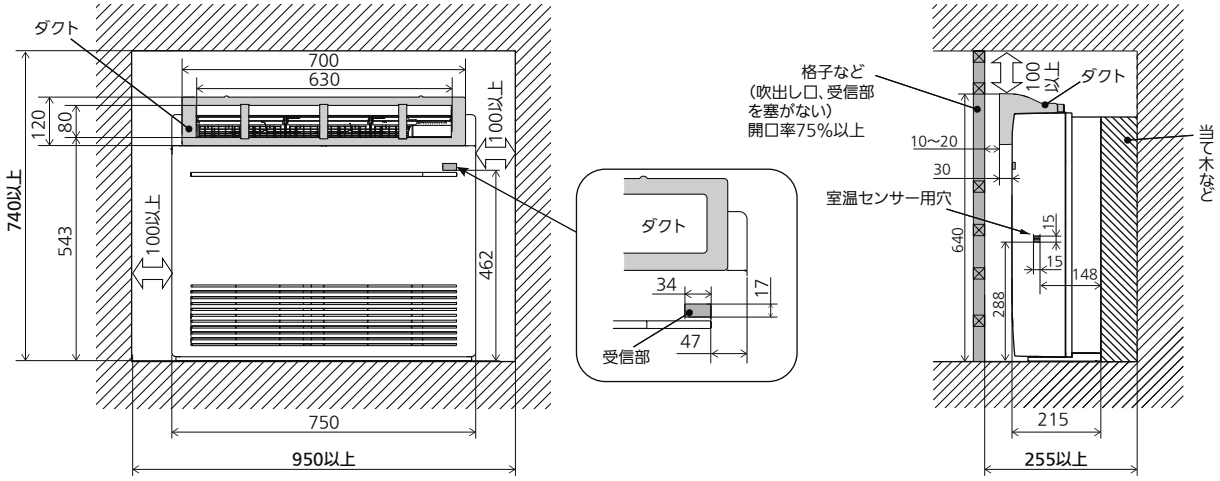
使用部品

	①	②
部品	ダクト 	パネル取外用金具 
個数	1	2

埋込設置

（●室内機上と左右のスペース（100㎜以上）はサービススペースです。
●室内機右側面には室温センサー用穴がありますので塞がないようにしてください。）

（単位:㎜）



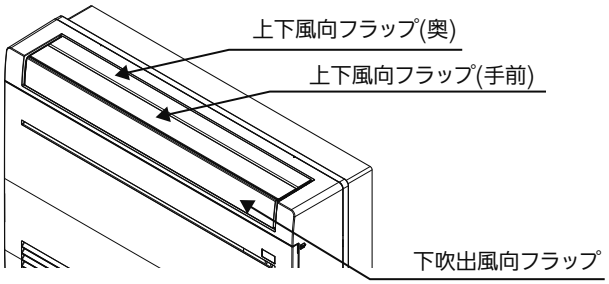
埋込設置 つづき

- 室内機を設置の際は、ダクト上面から天面までの距離が100㎜以上になるようにしてください。100㎜以上無い場合、サービスができなくなる可能性があります。ダクトを室内機に取付後、ダクトを室内機から外すことはできません。
- 格子をつける場合、吹出し口の風ができるだけ当たらないようにしてください。
  横桟が吹出し口をさえぎるおそれのある場合は、「置台」(別売部品)などを使って高さを調節してください。
  吹出し口が塞がれますと室温調整が正しく行われない、ショートサイクル・結露の原因になります。
- 受信部が格子の陰になりますと、リモコンからの信号を受ける距離や範囲(角度)が狭くなりますので、塞がないようにしてください。
- 格子の開口率は75%以上のものを使用してください。開口率75%未満のものを使用すると、性能低下の原因になります。
- 埋込設置の場合、エアコンを運転してから設定温度に達するまでの時間が遅くなります。
- 背面に隙間があく場合は、当て木や「背面パネル」(別売部品)などを使用して室内機をしっかり固定してください。
- 吹出し口を格子へ突き当てる場合はインシュレーション材(現地手配)などで格子とダクトに隙間が出来ないようにしてください。
  隙間があるとショートサイクル・結露の原因になります。

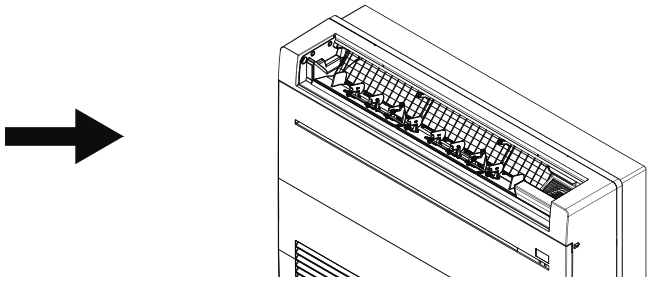
1 事前準備（フラップの取外し）

- ダクトを取付ける前にフラップ3枚を取外します。

フラップ取外し前

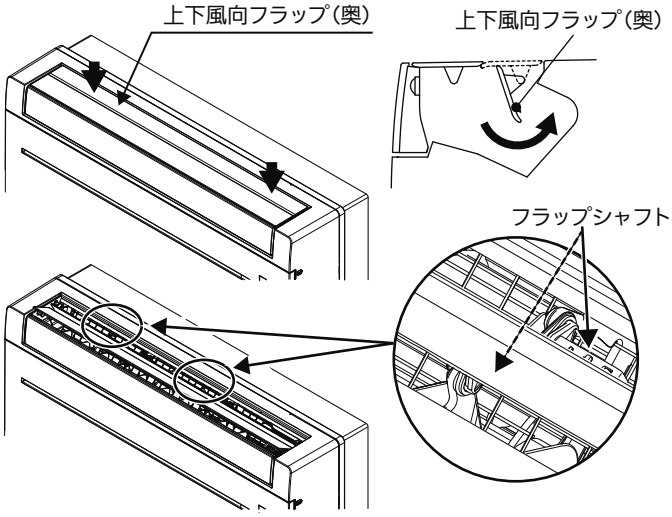


フラップ取外し後

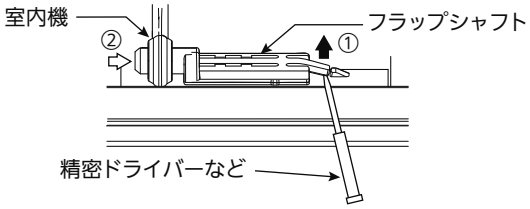


1．上下風向フラップ（手前／奥）の取外し

(1) 上下風向フラップ（奥）の矢印の位置を指で押して開き、フラップの裏側にあるフラップシャフト4個を確認します。



(2) フラップシャフトの溝に精密ドライバー等を差し込みフラップシャフトのツメを⬆①の方向に上げてフラップのリブから外します。
そのままフラップシャフトを⇨②の方向にスライドさせるとフラップシャフトが室内機から外れます。
（フラップシャフトは上下風向フラップの手前と上下風向フラップの奥それぞれ２個ずつ外します）

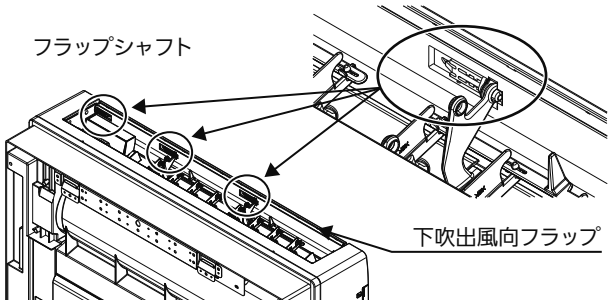


(3) フラップをたわませながら上下風向フラップ（手前／奥）の両端の軸を室内機本体から抜いて、上下風向フラップ（手前／奥）を取外します。

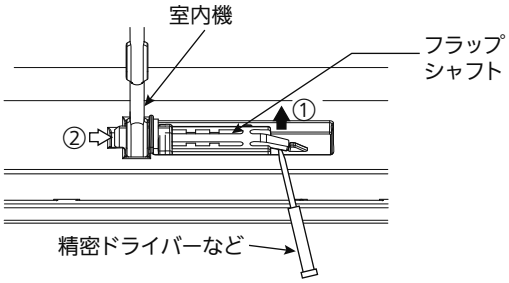
2．下吹出風向フラップの取外し

※上下風向フラップ（手前／奥）を取外してから作業してください。

(1) 下吹出風向フラップの裏側にあるフラップシャフト3個を確認します。



(2) 下吹出風向フラップとフラップシャフトの隙間に精密ドライバー等を差し込みフラップシャフトのツメを⬆①の方向に上げて下吹出風向フラップのリブから外し、そのままフラップシャフトを⇨②の方向にスライドさせるとフラップシャフトが室内機から外れます。



(3) 3個のシャフトを全て外した後、下吹出風向フラップの片側の軸を室内機本体から抜いて、下吹出風向フラップを取外します。

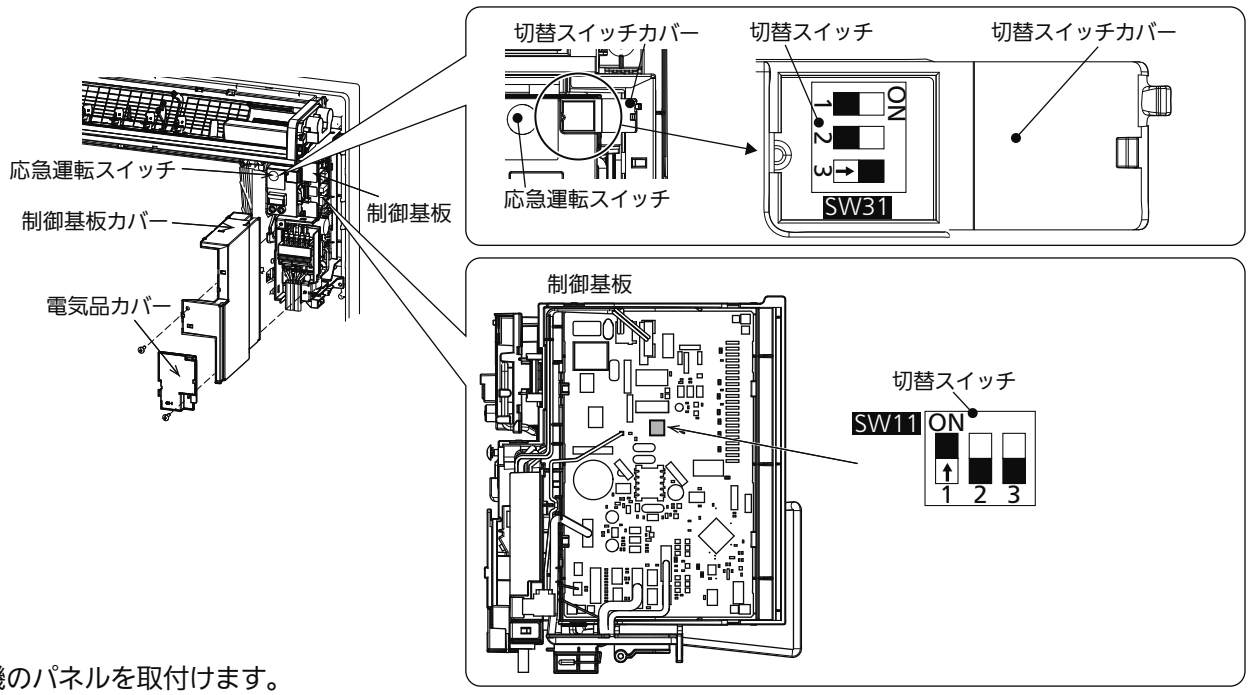
裏面へつづく

2 運転前準備

設置場所切替えの設定（必ず行ってください）

- 設定を行わないと、内部に熱がこもり、室温調節が正常に行われません。また、結露などの原因になります。
- 電源ブレーカが切れていることを確認してください。
- 静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

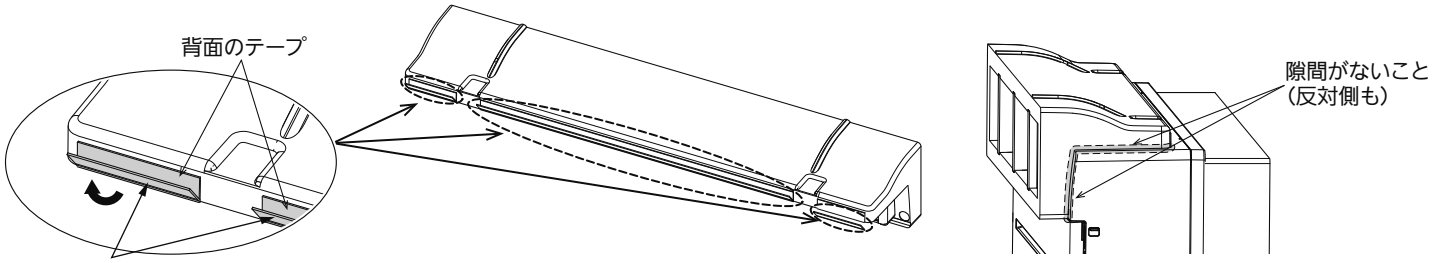
1. 室内機のパネルを取外します。
   ※パネルの取外し方法の詳細は、室内機の据付工事説明書を参照してください。
2. 切替スイッチカバーを開けて基板の切替スイッチを図のように切替えます。
3. 制御基板の切替スイッチを図のように切替えます。
   (1) 室内機の電気品カバーと制御基板カバーのネジを外し、電気品カバーと制御基板カバーを外します。
   (2) 制御基板上の切換スイッチ(SW11)を図のように切替えます。
   (3) 切替作業が終わったら制御基板カバーと電気品カバーを取付け、制御基板カバーと電気品カバーのネジを固定してください。
   - 制御基板カバーを取付ける際に、リード線をはさまないようにしてください。



4. 室内機のパネルを取付けます。

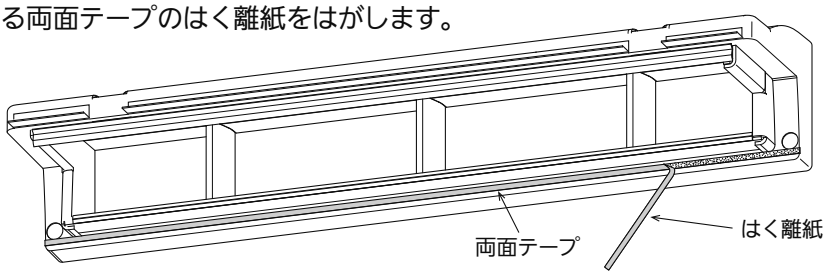
3 仮取付け

1. ダクト①背面のテープ３枚を下図のように折って折り目をつけます。
2. 背面のテープを巻き込んでいないことを確認しながらダクト①を吹出し口へ仮取付けします。
   - ダクト①を室内機へ両面テープによって固定するため、取付け後の修正はできません。
     事前に仮取付けをして取付状態を確認してください。

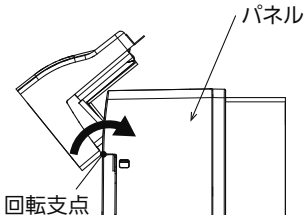


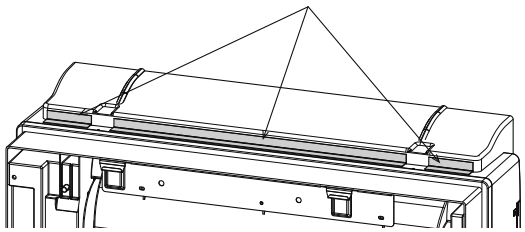
4 ダクトの固定

1. ダクト①下側の裏にある両面テープのはく離紙をはがします。

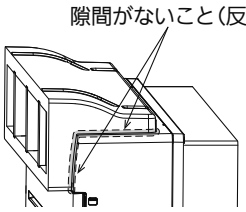


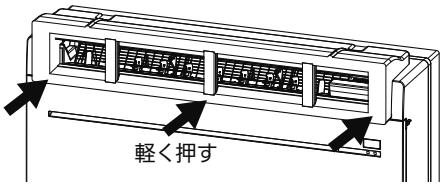
2. ダクト①下側の裏のカドを支点にして図のように
ダクト①を回転させながら室内機吹出し口に差込みます。
● 背面のテープを巻き込んでいないか確認してください。



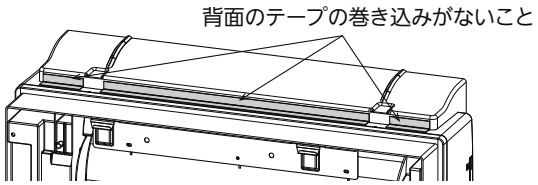


3. パネルとダクト①に隙間がないことを確認して、
ダクト①下側を全体的に軽く押してダクト①を
パネルに接着します。
● ダクト①を強く押しつけないでください。
（破損する可能性があります）

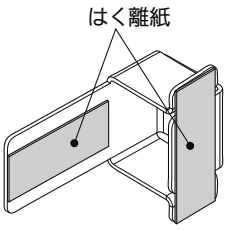


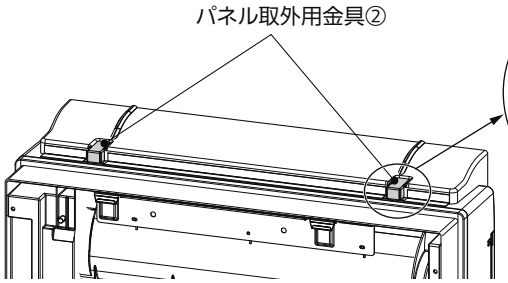


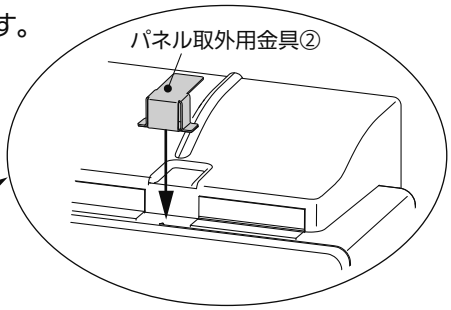
4. ダクト①背面のテープ３枚のはく離紙をはがし、ダクト①の
背面をパネルに固定します。



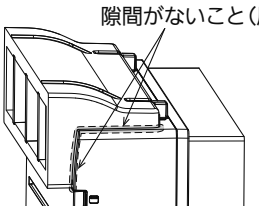
5. パネル取外用金具②の裏側にあるはく離紙をはがし、図のように取付けます。







● 完成後、下図のように正しく取付けられているか確認をしてください。

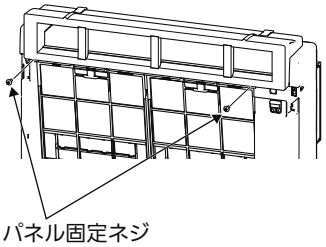


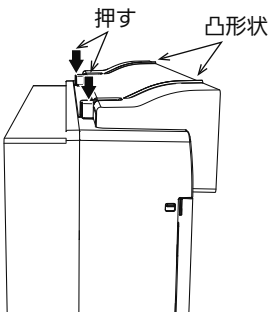
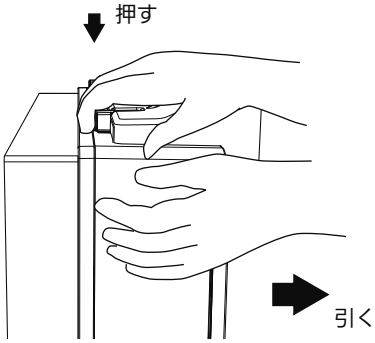
お願い	この後の据付作業などについては室内機の据付工事説明書に従い作業してください。

【参考】ダクト据付後のパネル取外し方法

● ダクト据付後にパネルを取外す際は、パネル取外用金具②の図の⬇部分を押しながら手前に引くとパネルが外れます。
（片方ずつ行ってください）

※パネル固定ネジが外してあることを確認してください。





（ダクト上部の凸形状部を室内機の奥にたどると、パネル取外用金具が見つけ易くなります）